西暦　　　　年　日本救急看護学会研究助成・研究計画書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 氏　　名 |  |
| 所属・職名 |  |
| 連 絡 先 | 電話番号： メールアドレス：　 |
|  |
| 研究テーマ |  |
| 研究組織 |  | 氏名 | 所属・部署・職名 | 役割分担 |
| 研究代表者 | 　 |  |  |
| 共同研究者 |  |  |  |
| 研究計画項目ごとに　　簡潔かつ明確に記載する |  |
| 倫理審査承認の有無 | □︎　承認あり　承認機関〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕□　承認なし□　申請中　　申請機関〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕　　　　　　　本学会事務所への倫理審査結果通知書送付予定日〔西暦　　　年　　月〕 |
| 経費＊使徒は詳細に記載して下さい＊単価が5万円を超えるものは見積書を添付して下さい | 内訳 | 使徒 | 単価 | 数量 | 金額 |
| 調査費 |  |  |  |  |
| 会議費 |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |
| 通信費 |  |  |  |  |
| 報酬費　 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 物品費 |  |  |  |  |
| 印刷費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 合計金額 | 円 |
| 助成申請額（助成申請額は経費の合計金額を切り上げて千円単位とする） | 千円 |
| 経費と研究計画との関連性  |
| 本研究成果の報告予定 |  |
| 研究代表者の研究業績　これまでの主な発表や論文を挙げてください |  |

記載例

西暦　　　　年　日本救急看護学会研究助成・研究計画書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 氏　　名 | 中野　太郎 |
| 所属・職名 | ◯◯◯病院・看護部・看護師 |
| 連 絡 先 | 電話番号：　・・・・・・・・メールアドレス：　・・・・・・・・ |
|  |
| 研究テーマ | 在宅療養における家族介護者の緊急時対応の認識と準備性に関する実態調査 |
| 研究組織 |  | 氏名 | 所属・部署・職名 | 役割分担 |
| 研究代表者 | 中野　太郎　 | ◯◯◯病院・看護部・看護師 | 研究計画からデータ収集・分析、発表・論文作成 |
| 共同研究者 | 吉田　花子鈴木　一子 | ◯◯◯病院・看護部・看護師長◯◯◯病院・看護部・CCNS | データ分析と論文作成の助言データ分析と論文作成の助言 |
| 研究計画項目ごとに　　簡潔かつ明確に記載する | 研究の背景　脳卒中は、・・・、・・・・・・。・・・・・・・・・。・・・・・・・・・・・。・・・。・・・・・・。・・・・・・・・・。・・・・・・・・・・・。・・・。・・・・・。　以上のことから、自宅で療養する患者に緊急事態が発生した際の初期対応は、第一発見者となる家族介護者の認識と準備性に関係すると考えられる。これらの実態を把握することは、在宅療養における対応の傾向が明らかとなり、今後、発生直後の対処行動への介入から救命率の向上につながる成果が期待される。研究目的　本研究では、在宅療養における家族介護者の緊急時対応の認識と準備性に関する実態を明らかにすることを目的とする。研究の意義　本研究の成果は・・・・救急看護学の発展に寄与すると考える。研究方法１．対象者：近畿二府四県の訪問看護ステーションから・・・・家族介護者300名２．データ収集期間：・・・・３．データ収集方法：・・・調査票を用いて・・・・・。訪問看護ステーションから紹介を受けた介護者に協力依頼書を送付し、協力の回答があった方に調査票を送付する。・・・４．データ分析方法：・・・・・SPSSを用いて・・・倫理的配慮　本研究では、・・・・・。 |
| 倫理審査承認の有無 | ☑︎　承認あり　承認機関〔　　　日本救急看護学会研究倫理委員会　　　　　〕□　承認なし□　申請中　　申請機関〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕　　　　　　　本学会事務所への倫理審査結果通知書送付予定日〔西暦　　　　年　　月〕 |
| 経費＊使徒は詳細に記載して下さい＊単価が5万円を超えるものは見積書を添付して下さい実験研究の機材等 | 内訳 | 使徒 | 単価 | 数量 | 金額 |
| 調査費 | なし |  |  | ０ |
| 会議費 | 会議室利用代金 | 9,000円 | 1 | 9,000円 |
| 旅費 | 会議出席旅費（往復新幹線：東京－新大阪） | 17,820円 | 1 | 17,820円 |
| 通信費 | 訪問看護ステーション依頼書送付対象者協力依頼書送付対象者質問紙票送付 | 84円84円84円 | 50件500件300件 | 4,200円42,000円25,200円 |
| 報酬費　 | 協力謝礼品（◯◯） | 300円 | 300人 | 90,000円 |
| 消耗品費 | 依頼書・調査票印刷の用紙　500枚入封筒 長３号　100枚入統計解析ソフトSPSS（6か月期限付き）USBメモリーカード | 300円150円13,800円900円 | 5冊10冊1件1個 | 1,500円1,500円13,800円900円 |
| 物品費 |  |  |  |  |
| 印刷費 | なし |  |  | ０ |
| その他 | なし |  |  | ０ |
| 合計金額 | 205,920円 |
| 助成申請額（助成申請額は経費の合計金額を切り上げて千円単位とする） |  206 千円 |
| 経費と研究計画との関連性 本研究は、300名の在宅療養者の家族介護者を対象とした質問紙調査である。依頼する訪問看護ステーションは50施設、対象者候補者500名に送付し、協力が300名得られるとしているために、依頼書等送付の通信費に69,700円必要である。また、・・・・・。・・・・。収集したデータを統計解析するためにSPSSソフトおよびその使用が必要である。研究者はオンライン会議を中心とするが、〇〇時には対面の会議が必要となるため、会場費と交通費を計上する。 |
| 本研究成果の報告予定 | 西暦◯○○○年・東京開催の第▲回日本救急看護学会学術集会での発表を予定している |
| 研究代表者の研究業績　これまでの主な発表や論文を挙げてください | これまで研究の経験がなく、発表や論文投稿等の業績はありません |

Webアンケート調査の場合のサイトの立ち上げ費など